



# 新・東中とんぼ通信

発行 横浜市立若葉台東中学校 編集責任 鈴木 徹



復刊 第1号

## 新・東中とんぼ通信の発行に際して

東中とんぼ通信は、過去に第1期・第2期と二度の機会に渡って発行されました。主な内容は、東中において実施された環境教育について触れたものです。記述内容は環境教育全般について扱ったこともあり、広範囲なものになりました。しかし、旧通信は、発行回数・発行時期ともに、残念ながら十分にその使命を果たしているとはいえませんでした。そこで今回発行の「新・東中とんぼ通信」では、総合的な学習の時間における資料やヒントとなるように、内容を東中の自然環境中心に絞り、軽快なフットワークで取り組もうと考えました。版も以前の半分とし、その代わりに発行回数をなるべく多くしたいと計画しています。ただし、「新・東中とんぼ通信」も不定期発行とすることにしました。それは、東中の

自然環境について、何かおもしろいことを発見したり、興味深いことが起きたりしたなら、なるべく早いうちに皆さんへお伝えしたいと考えたからなのです。「新・東中とんぼ通信」は、皆さん参加の上で作り上げていくことを目標にしたいと思っています。ですから、情報や記事、ご意見など何でもお寄せいただき、紙面に反映させて行くことができれば、大変うれしく思います。是非ともご協力の程宜しくお願いいたします。なお、情報、記事、ご意見などは、本校教諭・鈴木 徹までお寄せ下さい。



カット 小峯 さおり

## 春はそこまで

3月は突然暖かな日があるかと思えば、次の日はぶるぶる震えるような寒い日がやってきたりして、天候が目まぐるしく変わる月です。まさに、三寒四温という言葉そのものの日々です。今回は、そんな春の訪れを告げる使者達に登場してもらおうと思います。

3月9日は、ぽかぽかと心地よく感じる、まさに「春」といった天気でした。ずいぶん暖かくなったなあ〜と、ぼんやりと窓の外を見ていた時のことです。私の視界の片隅をひらひらとよぎる影に気付きました。「もしかしたら蝶々？それとも蛾？」。日本に生息する蛾の中にはフユジャクガのような、冬に活動する仲間もいます。しかし今回は、ちらっと見えた青色が気になりました。そこで、しばらく待っていると、彼（彼女）が再び飛んできました。今度はしっかり観察してみます。やはり蝶々でした。ルリタテハという種類です。3月でも蝶々が見られるのだなど、少々意外な発見でした。ルリタテハは成虫で越冬する蝶です。冬を越した個体が暖かさにつられて出てきたのですね。春はもうすぐそこまで来ていたのでした。

